

平成24年7月27日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件
(うち石油給湯機1件、ガス瞬間湯沸器(LPGガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 8件
(うち延長コード1件、パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)1件、
扇風機1件、エアコン1件、電気冷蔵庫3件、電気衣類乾燥機1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 8件
(うちスピーカー(天井埋込式)1件、自転車1件、CDラジカセ1件、
電子レンジ1件、送風機1件、パネルヒーター1件、三輪自転車1件、
空気清浄機1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号A201000948、A201100385、A201100456、A201200298及びA201200302を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 東芝キャリア株式会社が製造したエアコンについて（管理番号A201200298）

① 事故事象について

東芝キャリア株式会社が製造したエアコンを使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分が露出しているために、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成16年8月19日にホームページに情報を掲載し、翌8月20日に新聞社告を掲載するとともに、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）、全国自治体の広報誌への情報掲載等を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修（シリコンを充填したコネクタカバーを被せる又はファンモーターの交換）を実施しています。

③ 対象製品等：機種・型式名、製造期間、改修対象台数

機種・型式名	製造期間	改修対象台数
RAS- 225LDR、255LDR、285LDR、 325LDR、406LDR、506LDR、 255LDR-D、285LDR-D、 406LDR-D、255LDR-G、 285LDR-G、2559SDR、 2859SDR、4069SDR、V285DR	1998年9月～2000年6月 (RAS-×××LDRシリーズ)	218,626台
RAS- 225YDR、255YDR、285YDR、 325YDR、405YDR、406YDR、 506YDR、255YDR-D、 285YDR-D、406YDR-D、 V285DR3、2833D-I	1999年9月～2001年3月 (RAS-×××YDRシリーズ)	287,560台
HAS- M221FDR1、M281FDR1 RAK- 285DR3、405DR3 RAG- 283KE、323KE、403KEJ SIK- J500AX、J630AX、P500HX、 P630HX (東京ガス(株)ブランド) TS- B2842U-S(GY)、B3242U-S(GY)、 B4052U-S (大阪ガス(株)ブランド) 144-0014、144-0015、144-0016、 144-0017、144-0019 (東邦ガス(株)ブランド) THCI-4932RC	1999年11月～2002年1月	20,259台
合 計		526,445台

改修率

74.7%（平成24年6月30日現在）

対象製品の確認方法：対象製品の型名は、製品に向かって左側面の銘板又は製品に向かって左下面の銘板に記載されています。

LDRシリーズ 機種名記載位置

機種名表示部

東芝A-28232Y10aT (23)48系	
RAS-285LDR	
電源	100V 50/60 Hz
単相	*** W
冷房能力	*** kW
暖房能力	*** kW
除湿能力	*** W
冷房運転電流	*** A
暖房運転電流	*** A
除湿運転電流	*** A
冷房標準電力	*** W
暖房標準電力	*** W
除湿標準電力	*** W
冷房EER	
消費効率	
暖房EER	
消費効率	
給質量	kg
製造年	04
組合せ室外機形名	RAS-***LADR
東芝村野株式会社	
JQA C 9612	22042
区分式	冷房・暖房兼用
電気用品取締法に準じて表示	
定格電圧	***V
定格周波数	50/60Hz
電機器具の定格消費電力	*** W
製造番号	*****
東芝村野株式会社	

機種名表示部

YDRシリーズ 機種名記載位置

機種名表示部

東芝A-28232Y10aT (分室形)	
電源	100V 50/60Hz
単相	*** W
冷房能力	*** kW
暖房能力	*** kW
除湿能力	*** W
冷房標準電力	*** W
暖房標準電力	*** W
除湿標準電力	*** W
冷房EER	
消費効率	
暖房EER	
消費効率	
給質量	kg
製造年	04
JQA C 9612	22042
区分式	冷房・暖房兼用
電気用品取締法に準じて表示	
定格電圧	***V
定格周波数	50/60Hz
電機器具の定格消費電力	*** W
製造番号	*****
東芝村野株式会社	

製造番号の確認方法：銘板の右下隅に下記8桁の番号が印刷されています。

001****

↑↑ ↑

↑ 月 ↑ 連番

西暦下1桁

9:1999年製
0:2000年製
1:2001年製
2:2002年製

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(東芝キャリア株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-444-899

FAX番号：0120-445-175

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：

<http://www.toshiba-carrier.co.jp/info/article/article-02.htm>

(2) 株式会社富士通ゼネラルが製造した電気冷蔵庫について（管理番号A201200302）

① 事故事象について

ブレーカーが作動し停電していたため確認すると、株式会社富士通ゼネラルが製造した電気冷蔵庫を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品が、庫内に食品汁等をこぼした場合に、内部配線の接続用コネクタ（霜取りヒーター用）に流れ込む構造だったため、食品汁等がコネクタ一部に流れ込み、端子間のスパークにより発煙・出火したものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成17年9月2日から複数回、新聞社告を掲載するとともに新聞折り込みチラシの配布等を通じて注意喚起を継続して行っており、対象製品について無償点検・改修（コネクタ一部を防水袋で包む）を実施しています。

③ 対象製品等：機種名、販売期間

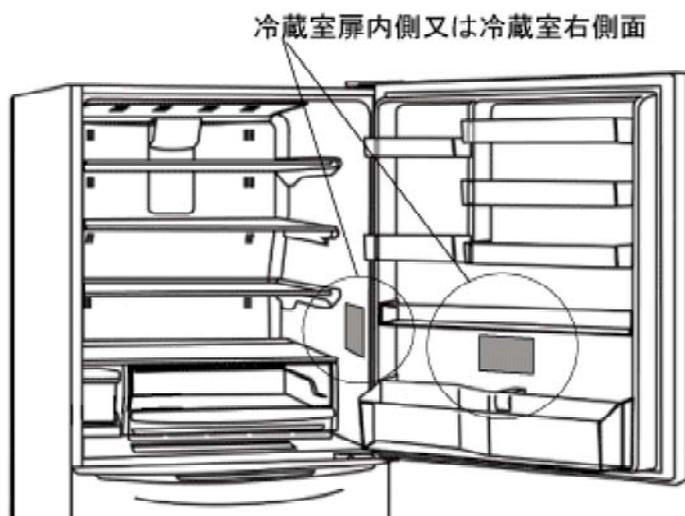
機種名	販売期間
ER-D429V-G、ER-D429V-H、ER-D427M-H、ER-D420V-G、 ER-D420V-H、ER-D380V-G、ER-D380V-H、ER-D359M-H、 ER-D350M-H	平成6年11月 ～ 平成15年3月
ER-F43KA-G、ER-F43KA-H、ER-F43KB-G、ER-F43KB-H、 ER-F43MA-G、ER-F43MA-H、ER-F43MB-G、ER-F43MB-H、 ER-F39MB-G、ER-F39MB-H、ER-F35MB-G、ER-F35MB-H、 ER-F35MC-G、ER-F35MC-H、ER-F35MD-H	
ER-M436ALG、ER-M43JB-G、ER-M42J1-G、ER-M396ALH、 ER-M35JB-H、ER-M35JC-H	
ER-S428M-G	
ER-V43KD-G、ER-V43KD-H、ER-V43KDLH、ER-V42JC-H、 ER-V42KC-G、ER-V42KC-H、ER-V42KD-H、ER-V42MC-G、 ER-V42MC-H、ER-V38KD-G、ER-V38KD-H、ER-V38KE-G、 ER-V38KE-H、ER-V38KELH、ER-V38KF-C、ER-V38KG-A、 ER-V38KG-C、ER-V38MC-G、ER-V38MC-H、ER-V38MD-G、 ER-V38MD-H、ER-V38ME-G、ER-V38ME-H、ER-V38MELH	
ER-42MSU-G、ER-387VM-H	

※ 製造番号により一部該当しない機種があります。

改修対象台数 197, 898台

改修率 44.6%（平成24年7月25日現在）

対象製品の確認方法：機種名及び製造番号は該当製品本体の下図2箇所に表示してあります。



機種名及び製造番号の表示例

冷蔵室扉内側又は冷蔵室右側面

機種名

製造番号

ER-F39MB-H

ER-V38KG-c

ER-V38KG-A

1006132

1002341AB

1006132

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社富士通ゼネラルの問合せ先)

電話番号：0120-623-667

FAX番号：0120-559-537

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：http://www.fujitsu-general.com/jp/i_info/index.html

(3) LG電子ジャパン株式会社（現 LG Electronics Japan株式会社）が輸入した電気冷蔵庫について（管理番号A201200304）

①事象について

LG電子ジャパン株式会社（現 LG Electronics Japan株式会社）が輸入した電気冷蔵庫及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて

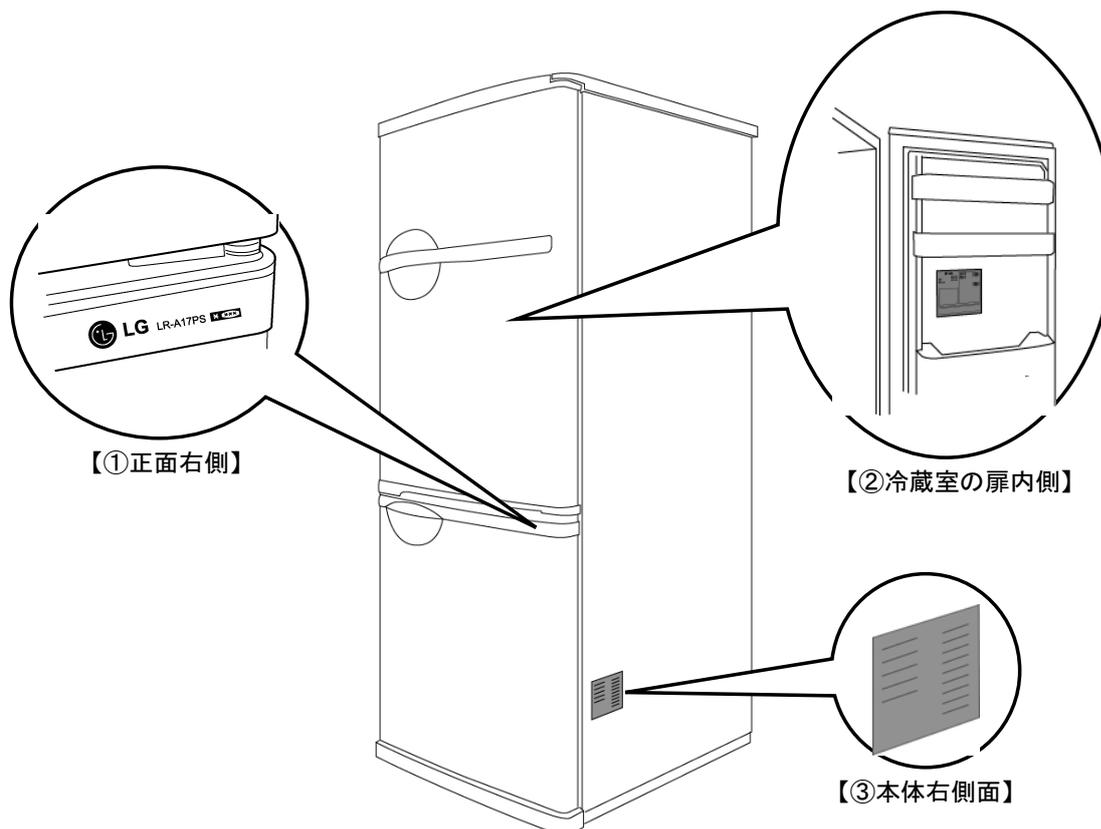
同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、コンデンサの製造不良により、コンデンサ内部の酸化が進行し、規定以上の電気抵抗が生じて発熱、出火のおそれがあります。このため、平成20年12月16日にプレスリリース及びホームページでの告知を行うとともに、同月17日に新聞社告を掲載し、対象製品について無償での部品交換を実施しています。

③対象製品等：型式名、製造期間及び改修対象台数

型式名	製造期間	改修対象台数
LR-A17PS	平成15年9月25日～平成17年3月27日	36,128台
LR-B17NW	平成16年1月30日～平成17年4月1日	12,409台
合計		48,537台

改修率 27.2%（平成24年6月30日現在）

対象製品の確認方法：型式名は、該当製品本体の下図3箇所に表示してあります。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(LG Electronics Japan株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-0040-27

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.lg.com/jp/press-release/article/recall.jsp>

(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担当：大木、長井、川^{かわ}船^{ふね}

電話：03-3507-9204 (直通)

FAX：03-3507-9290

(東芝キャリアが製造したエアコンについての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社富士通ゼネラルが製造した電気冷蔵庫についての発表資料に関する問合せ先)

(LG電子ジャパン株式会社(現 LG Electronics Japan株式会社)が輸入した電気冷蔵庫についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、古田、長沼 電話：03-3501-1707 (直通)

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200307	平成24年7月15日	平成24年7月24日	石油給湯機	IB-35SR	株式会社長府製作所	火災	当該製品で給湯中、沸騰した湯が出たため確認すると、当該製品の周辺を破損する火災が発生していた。事故前からリモコンの温度調整が効かない不具合が発生していた状況を含め、現在、原因を調査中。	広島県	製造から25年以上経過した製品
A201200309	平成24年7月5日	平成24年7月25日	ガス瞬間湯沸器 (LPガス用)	PH-203EWHFS	株式会社パロマ	火災	建物を5棟全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	秋田県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000948	平成23年1月13日	平成23年2月10日	延長コード	WH2723TWP	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品に電気ストーブ(オイルヒーター)を接続して使用中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、事故原因は、長期使用(約20年)により、当該製品のプラグ刃の可動カシメ部(プラグ刃と可動端子の接続部)が接触不良に近い状態にあり、さらに当該製品の定格容量(1500W)と同じ消費電力の電気ストーブを接続して使用していたため、プラグ刃のカシメ部が異常発熱して、出火に至ったものと考えられる。 なお、電気ストーブの取扱説明書には「延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使用しない」、「電源は交流100V(50/60Hz)で15A125Vと記されている壁面のコンセントに直接差し込む」旨、記載されている。	福岡県	平成23年2月15日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201100385	平成23年8月19日	平成23年9月2日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	BP-NV4KL	株式会社三社電機製作所(パナソニックブランド)	火災	当該製品から異音とともに火花が生じ、火災が発生し、当該製品が焼損した。 調査の結果、事故原因は、屋内設置用の当該製品を、事業者の系列業者がシャッターの付いていないガレージの壁面に設置したため、当該製品上部のガレージ構造材から結露水が滴下し、製品内部に浸入し、電源基板部でトラッキング現象が生じ、出火に至ったものと考えられる。	熊本県	平成23年9月6日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100456	平成23年9月17日	平成23年10月3日	扇風機	F-40L2D	松下精工株式会社 (現 パナソニックエコシステムズ株式会社)	火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 調査の結果、事故原因は、長期使用(約20年)により、当該製品のモーター軸がロックして作動しない状態であったが、スイッチを入れたままにしていたため、モーター巻線が異常発熱してレイヤーショート(層間短絡)し、出火に至ったものと考えられる。	岐阜県	平成23年10月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201200298	平成24年7月14日	平成24年7月23日	エアコン	RAS-406LDR	東芝キャリア株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損、周辺を汚損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分が露出しているために、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこんだことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。	大阪府	製造から10年以上経過した製品 平成16年8月20日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 74.7% 7月26日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200302	平成24年7月9日	平成24年7月24日	電気冷蔵庫	ER-F43MB-G	株式会社富士通ゼネラル	火災	ブレーカーが作動し停電していたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品が、庫内に食品汁等をこぼした場合に、内部配線の接続用コネクタ(霜取りヒーター用)に流れ込む構造だったため、食品汁等がコネクタ部に流れ込み、端子間のスパークにより発煙・出火したものと考えられる。	長野県	平成17年9月2日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 44.6%
A201200303	平成24年7月13日	平成24年7月24日	電気衣類乾燥機	CD-EC551	三洋電機株式会社	火災	高齢者施設で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	大阪府	
A201200304	平成24年7月15日	平成24年7月24日	電気冷蔵庫	LR-A17PS	LG電子ジャパン株式会社(現 LG Electronics Japan株式会社) (輸入事業者)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	平成20年12月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 27.2%
A201200306	平成24年7月11日	平成24年7月24日	電気冷蔵庫	R-233TD	株式会社日立製作所 (現 日立アプライアンス株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品内部を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	製造から35年以上経過した製品

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200295	平成24年4月26日	平成24年7月23日	スピーカー(天井埋込式)	火災	室内照明の電源を入れたところ、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	香川県	事業者が事故を認識したのは、5月31日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意
A201200296	平成24年7月9日	平成24年7月23日	自転車	重傷1名	当該製品で下り坂を走行中、ブレーキが効かず転倒し、負傷した。ブレーキが効かなくなった状況を含め、現在、原因を調査中。	和歌山県	
A201200297	平成24年6月10日	平成24年7月23日	CDラジカセ	火災 死亡1名	住宅の一部を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	三重県	事業者が事故を認識したのは、7月11日 6月29日に公表した扇風機に関する事故(A201200232)と同一
A201200299	平成24年6月15日	平成24年7月23日	電子レンジ	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、7月17日
A201200300	平成24年7月1日	平成24年7月23日	送風機	火災	事務所で当該製品を使用中、火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	
A201200301	平成24年5月4日	平成24年7月24日	パネルヒーター	火災	工場で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	事業者が事故を認識したのは、5月7日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意
A201200305	平成24年7月18日	平成24年7月24日	三輪自転車	重傷1名	当該製品で走行中、突然スイング機構(車体を左右に傾ける仕組み)が固定され、カーブを曲がれず河原へ落下し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	三重県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200308	平成24年7月15日	平成24年7月25日	空気清浄機	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	7月26日に消費者安全法の重大事故等として公表済

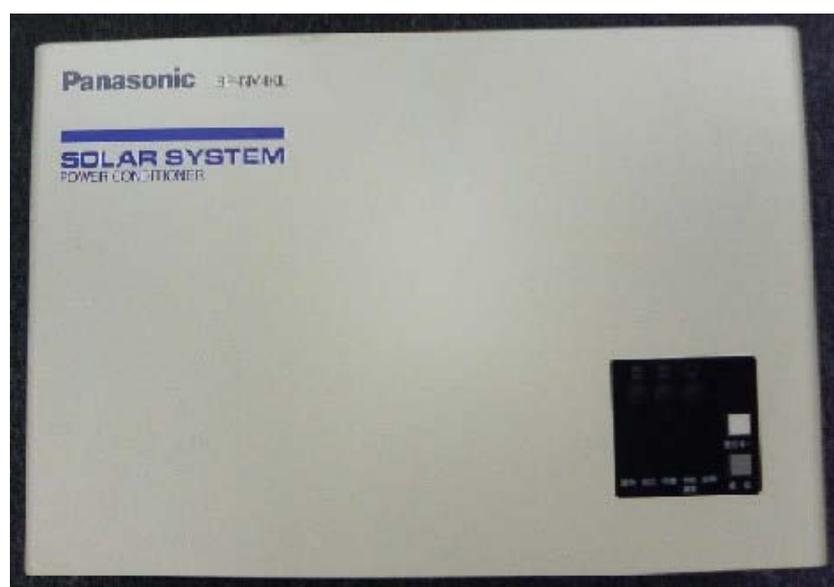
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

延長コード（管理番号：A201000948）



パワーコンディショナ（太陽光発電システム用）（管理番号：A201100385）



扇風機（管理番号：A201100456）



エアコン（管理番号：A201200298）



電気冷蔵庫（管理番号：A201200302）



電気衣類乾燥機（管理番号：A201200303）



電気冷蔵庫（管理番号：A201200304）



電気冷蔵庫（管理番号：A201200306）

